

会社概要	
社名	川辺株式会社
社名(英語表記)	T.KAWABE & CO., LTD.
創業	大正12年2月
設立	昭和17年11月
資本金	1,720,500,000円
主な事業内容	ハンカチーフ、スカーフ、マフラー、エプロン、タオルおよび布帛製品の製造、販売ならびに輸出入／服飾雑貨の販売ならびに輸出入／化粧品、香水、石鹸、医薬品、医薬部外品の製造および販売ならびに輸出入／上記に附帯する一切の業務
事業所	本社／東京支店／大阪支店／福岡支店／札幌営業所／名古屋営業所 川辺今治センター グループ レインボーワールド株式会社／株式会社ソルティアー／川辺（上海）商貿有限公司
役員 (平成26年6月27日現在)	代表取締役社長 吉田 久和 経営管理統括本部長 代表取締役専務 越智 康行 経営企画室長 常務取締役 高澤 秀彰 営業統括本部長兼百貨店本部長 常務取締役 稲子 健夫 チェーンストア本部長兼リテール本部長 取締役 安達 彰宏 フレグランス本部長 取締役 堀口 賢一 社外取締役 取締役 細見 研介 社外取締役 常勤監査役 齋藤 達夫 監査役 山崎 晴雄 監査役 園部 哲夫
従業員数	189人

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月末日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告（http://www.kawabe.co.jp） ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階）
郵便物送付先（連絡先）	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

株主ご優待について	
株主の皆様の日頃のご厚情にお応えするため、下記の要領により、株主ご優待の商品を贈らせていただきます。	
ご優待の商品	自社製品
権利の確定日	3月31日現在の株主
ご所有株式による区分と商品	① 1,000株以上ご所有の株主 小売値2,000円相当の自社製品 ② 3,000株以上ご所有の株主 小売値5,000円相当の自社製品 ③ 5,000株以上ご所有の株主 小売値7,000円相当の自社製品 ④ 10,000株以上ご所有の株主 小売値10,000円相当の自社製品

Online Shop

オンラインショップ



会員限定のお得な情報やポイントがご利用いただけます。是非ご来店ください。

<http://www.kawabe.co.jp/>

株式情報（平成26年3月31日現在）		
発行可能株式総数	30,000,000株	
発行済株式総数	18,610,000株	
株主数	1,596名	
主要株主名	持株数	持株比率
一広株式会社	4,857千株	26.5%
伊藤忠商事株式会社	4,658千株	25.5%
川辺正二	738千株	4.0%
丸山三千夫	452千株	2.4%
川辺康子	420千株	2.3%
稲葉もと	300千株	1.6%
八木良三	260千株	1.4%
井藤織維株式会社	237千株	1.2%
越智康行	198千株	1.0%
松本恒吉	180千株	0.9%

(注) 持株比率は自己株式(340,993株)を控除して計算しております。



川辺株式会社

〒160-8403 東京都新宿区四谷四丁目16番3号
TEL：03-3352-7123 FAX：03-3352-2070

INTERMODE KAWABE

Business Report

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当連結会計年度における我が国経済は、政府の経済対策、日銀の金融緩和等の効果により円安・株高傾向の影響から企業収益の改善が図られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外経済の減速や欧州債務問題、景気の下振れも懸念され先行きは、依然として不透明な状況で推移いたしました。
当社グループを取り巻く事業環境におきましては、景気回復の期待感から消費者マインドの好転により回復傾向が見られますが、従来からの節約志向の意識は依然として続いており、引き続き厳しい状況で推移いたしました。
この様な状況の下にあって当社グループは、顧客第一主義を経営の根幹として、革新的な発想に則した企業活動を通じて、市場競争力の強化と新たな事業領域の拡大を促進し、総合雑貨メーカーを目指し、企業の継続的成長に努めてまいりました。

第70期の当社グループの対処すべき課題といたしまして、景気回復について不透明な状況が続くことが予想される消費環境におきまして、新たな経営ビジョン『コト提案型企業への変革と製造小売業を目指す』を掲げて、企業価値向上に努めます。
身の回り品事業につきましては、コト提案が出来る商品開発を行い、並びに新規ブランド取得による市場占有率の向上を図り、売上拡大に努めます。
また、販路拡大策として、直営店舗の出店とTV通販・EC事業の販売強化の施策と連結会社等による新規取引先開拓（OEM事業）を積極的に行います。
フレグランス事業につきましては、ホールセール販売の売上拡大を進め、百貨店・直営店舗の統廃合による大幅な収益改善を行い、早期黒字化を目指してまいります。

連結財務データ

財務の状況	前期末 2013年3月31日現在	当期末 2014年3月31日現在
流動資産	7,656	7,634
固定資産	4,914	4,850
資産合計	12,570	12,485
流動負債	5,380	5,124
固定負債	1,562	1,493
負債合計	6,943	6,617
純資産	5,627	5,867
負債純資産合計	12,570	12,485



経営成績の状況

以上の取組みにより、当社グループは成長戦略を実現し企業価値の更なる向上に向け一層の努力をしまっている所存でございます。
株主の皆様におかれましては、以上の諸事情をご賢察のうえ、今後とも、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
吉田 久和

キャッシュ・フローの状況

	前期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	当期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
売上高	16,320	16,720
営業利益	799	508
経常利益	827	536
当期純利益	△117	298
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185	434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	550	△260
現金及び現金同等物の期末残高	570	611



Handkerchief

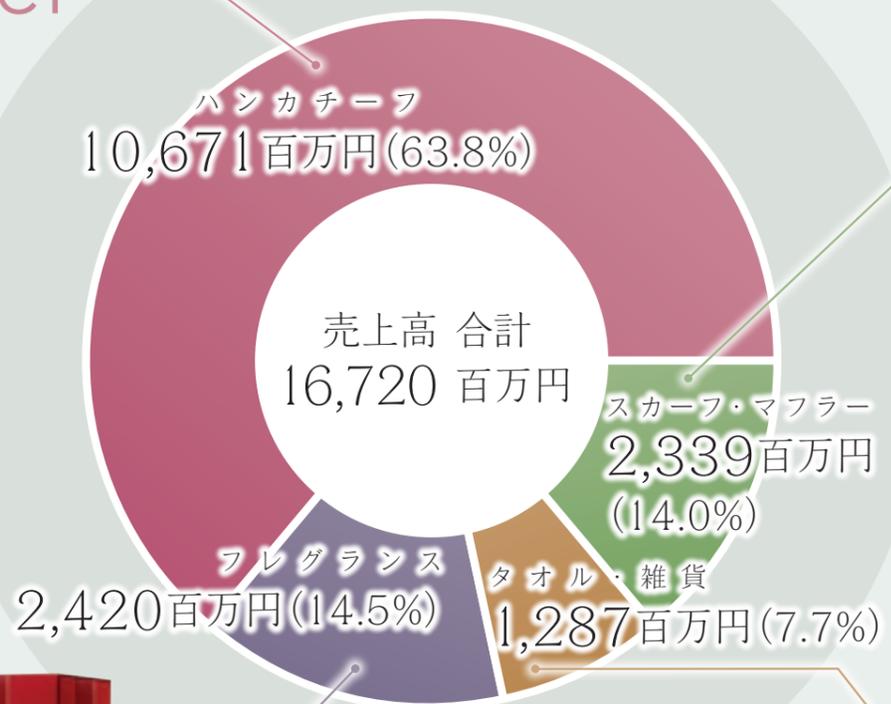
第2四半期より新規投入したブランドのジル・スチュアートの販売が好調に推移したことと既存ブランドの積極的な企画提案が市場占有率のアップに繋がり売上は、前年比101.7%と伸びました。



Fragrance

昨年10月に日本初上陸を果たしたフェンディフレグランス。上陸と同時に世界発売したアクアロッサや、春に発売されたファンディフェンディブロッサムなどが順調に売上を伸ばし、既存取引フレグランスを後押しし、前年比116.5%と伸びました。

商品別 売上高



Scarf / Muffler

第1四半期に春夏物の市場が比較的好調に推移しましたが、繁忙期である第3四半期において、秋口の残暑の影響で商品企画と消費者ニーズが合致せず売上が伸び悩んだことにより、前年比94.5%と苦戦いたしました。

Others

タオル・雑貨につきましては、雑貨商品に大きなヒット商品がありませんでしたが、タオルケットなどのテレビ通販商材と量販店におけるスポーツブランドタオルが好調だったことにより、売上は前年比100.7%となりました。

NEW ARRIVAL



ゲラルディーニ

1885年、芸術の都イタリア・フィレンツェにて革小物ブランドとして誕生した「ゲラルディーニ」。創始者の工芸家ガリバルド・ゲラルディーニによる技と感性にこだわり、香り高きルネッサンス文化の息吹が感じられる名品はヨーロッパ中の女性達、そしてセレブリティまでも魅了しました。その上品さと優雅さを守りつつ時代にあわせたデザインや機能性を加えたコレクションを発表し続け今や世界中に愛されるブランドに成長しました。120年以上の時を経て、常に新たな挑戦を続けるゲラルディーニ。歴史を物語る、華やかなブランドの魅力をご堪能下さい。



ハウスオブロータス

モデル・女優の桐島かれんさんのプロデュースと川辺のモノづくりとのコラボレーションで企画されたストールブランドが2014年秋にデビューします。子供のころから旅した世界各国で触れた異国の雑貨に強く惹かれたかれんさんが“本当に好きなもの”の思いをテーマにインドで作り上げたストールです。自身がプロデュースしたセレクトショップブランドと同様に幅広い年代層の方に向けた商品です。



フレグランス New Arrival

取扱基幹ブランドのサルヴァトーレ フェラガモのシグネチャーフレグランスであるシニョリーナから、マチュアな香りのエレガントアが登場。フェラガモのフェミニンな世界観を表現。また、ニナリッチのニナのシリーズに、メゾン・ラデュレと夢のコラボレーションで生まれた限定の香りラテンテーションドゥニナが新しく発売されました。この春、全国の売り場をセンセーショナルに彩りました。